

雲の間に 光差し込む 冬の朝

亀田 梓（IHI）

早朝にふと空を見上げたら、雲の間から光が差し込んで、美しい情景でした。その空を眺めながら、今日も一日頑張ろうと歩みを進めました。

SKY005(2023)

ゆるやかに 今年をあわてず 一歩ずつ

木塚 崇（光村図書出版 編集部）

みなさん、勉強や部活、遊びなど、忙しい毎日を送っているかと思います。あつという間に日々が過ぎていくという感じではないでしょうか。でも、ときどき星空を見上げて、数十億年もかけて届いた光を見つめながら、心を休めてみてください

SKY006(2023)

月 火星 夜空に浮かぶ 鏡餅

山中 勉（IHI 研究主宰）

お正月、夜空を見上げると、月と火星が接近していました。夜空に浮かぶ鏡餅のようでした。鏡餅は幸福や恵みをもたらすとも言われています。平和で輝く未来の地球を、星友のみなさんと実現できますようにと、祈りました。

☆

SKY001(2022)

青と黄の 国旗を知った 二月の終わり

吉田 直樹（光村図書出版 社長）

SKY002(2022)

あおぞらに 飛行機雲が どこ行くの？

盛田 英夫（IHI 取締役）

お正月の青空に太い飛行機雲が伸びていました。どこ行くんだろう？

SKY003(2022)

さらさらの 砂地に何を 描こうかな

吉田 直樹（光村図書出版 社長）

SKY003(2022)

手を伸ばし さわってみたい お月様

盛田 英夫（IHI 取締役）

年の瀬の夜、ひととき大きな満月を見ました。手を伸ばしたら届きそう

地球人のあいさつ2023

「そらゆめことば同盟」の巻

星友のみなさん、こんにちは。おかわりありませんか。

同盟では、年初に、みなさんにエールを送る句を作りました。今年度も、同じ地球人として、みなさんを応援させていただきます。みなでステキな未来を紡ぎましょう。ひきつづきおからだを大切に。

2023年 7月1日

そらゆめことば同盟

盛田 英夫（IHI 取締役）

吉田 直樹（光村図書出版 社長）

木塚 崇（光村図書出版）

齋藤 京子（光村図書出版）

亀田 梓（IHI）、

代表 山中 勉（IHI 研究主宰）

SKY001(2023)

上を見て 僕ならずっと ここにいる

吉田 直樹（光村図書出版 社長）

聴覚に障害のある女性ボクサーを主人公にした映画を見ました。彼女には、外界の音が一切届かない。2時間の映画の中で、主人公には一つも台詞がありませんでした。ほかの登場人物との間にも、声を介した会話シーンはゼロ。だけど、画面には、主人公が暮らす街の音（彼女には聞こえないランナーの足音や吐息、車の騒音、工事の音、店先の音楽）があふれています。

SKY002(2023)

ひとつずつ 年の初めの 誓いかな

盛田 英夫（IHI 取締役）

ある団体の賀詞交歓会で、今年は「ひとつずつ進めます」と言われたトップが居ました。大きくて速い変化の中、あれもこれとも思いながら、月日だけが経っていくように思う中で、「ひとつずつ」の言葉が印象的でした。今年最初の頂き名言です。

SKY003(2023)

お正月 輝きはじけ 笑みこぼれ

齋藤 京子（光村図書出版）

今年はなんだかよいことがありそう。苦しい時もあるけれど、世界中のみんなが笑いあう日々が続きますように。そういう思いをこの句に込めました。

SKY004(2022)

君のこと 忘れるもんか 昨日も明日も

吉田 直樹(光村図書出版 社長)

SKY005(2022)

音もなく つばさはそらを すべってる

盛田 英夫(IHI 取締役)
遠くに見える空港から、ゆっくりと飛行機が上がっていきます。すべるようです。

SKY006(2022)

そら見上げ ゆめの続きを つぶやいた

木塚 崇(光村図書出版 編集部)

SKY007(2022)

ほしともに エールを贈る 天の川

山中 勉(IHI 研究主宰)